

授業科目名: 保育内容(環境)	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数: 2単位	担当教員名: 田中純江 担当形態: 単独
実務内容 (実務家教員の場合)	学校現場での勤務経験を持つ教員が、保育内容(環境)における専門的事項について指導する。		
科目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	領域に関する専門的事項		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)□			
授業のテーマ及び到達目標 (1)身近な環境との関わりに関する領域「環境」の、ねらいと内容について理解する。 (2)指導者としての、役割や指導法、環境構成についての理解を深める。 (3)持続可能な社会の創り手を育てるための、環境の見方や環境への接し方を学ぶ。			
授業の概要 領域「環境」の意義と基本的理論を学ぶ。乳幼児期の子どもを取り巻く、様々な環境の特徴と、そこで展開される主体的な遊びや安全への配慮事項などを学ぶ。 持続可能な社会を目指して、SDGsを視野に入れた幼児教育について考える。			
授業計画 第1回 領域「環境」の意義 第2回 領域「環境」のねらいと内容 第3回 子どもの発達と環境 第4回 個の発達・集団の発達と保育者の役割 第5回 子どもの発達と自然環境 第6回 飼育・栽培の意義と目的 第7回 子どもの発達と園の環境 第8回 園内環境の構成と課題 第9回 子どもと保育者のかかわり 第10回 子どもにとってのともだち 第11回 物的環境の意義 第12回 文字への関心や数量概念を育てる 第13回 地域の伝統文化に親しむ 第14回 科学性の芽生えを促す環境 第15回 領域「環境」から見た幼児教育の今日的課題 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
テキスト 岸井勇雄・武藤隆 [監修]・湯川秀樹・横山文樹 [編著]師岡章・寺田清美・瀧川光治・原子はるみ・野口隆子・堀越紀香・守随香・坪川紅美 [著](2018)『保育・教育ネオンシリーズ18「保育内容・環境」第三版』同文書院、978-4-8103-1470-0			
参考書・参考資料等 文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』フレーベル館 978-4-577-81447-5			
学生に対する評価 スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			